

本演題発表に関連し、開示すべきCOI(利益相反)はありません。

長浜市の地域医療構想における病院再編について

京都橘大学 経済学部 経済学科
内藤 帆南

〈目的〉

滋賀県北部(湖北)の医療の変革、病院再編の現状を確認

長浜市民の目線から見て

- ・必要な医療が提供されているか
- ・どのような体制であるべきか
- ・今後の医療として何が必要か

上記の内容を明らかにする

〈方法〉

- ・需要の高い医療や超過または不足している病床を明らかにする
- ・資料：長浜市事業中長期経営計画(2022-2025)など参照
- ・長浜市の医療機能別・病床必要量の推計データを分析する

〈結果〉

令和3(2021)年10月1日現在

急性期→966床、回復期→52床、慢性期→109床

| 病床区分 | 長浜市立湖北病院 | 市立長浜病院 | 長浜赤十字病院 | 合計 | 病床区分 | 現状病床数 | 2025年医療需要数 | 対比 |
|-----------|----------|--------|---------|------|------|-------|------------|------|
| 一般病棟 | 83 | 461 | 422 | 966 | 急性期 | 966 | 471 | 495 |
| 回復期リハビリ病棟 | | 52 | | 52 | 回復期 | 52 | 278 | -226 |
| 医療療養病棟 | 57 | 52 | | 109 | 慢性期 | 109 | 248 | -139 |
| 合計 | 140 | 565 | 422 | 1127 | | | | |

◇分析結果に基づく変更案

↑上記資料をもとに2025年各病床必要数を分析

| 病院名 | 急性期病床数 | 削減病床数 | 変更後病床数 |
|----------|--------|-------|--------|
| 市立長浜病院 | 461 | 241 | 220 |
| 長浜赤十字病院 | 422 | 202 | 220 |
| 長浜市立湖北病院 | 83 | 52 | 31 |
| 合計 | 966 | 495 | 471 |

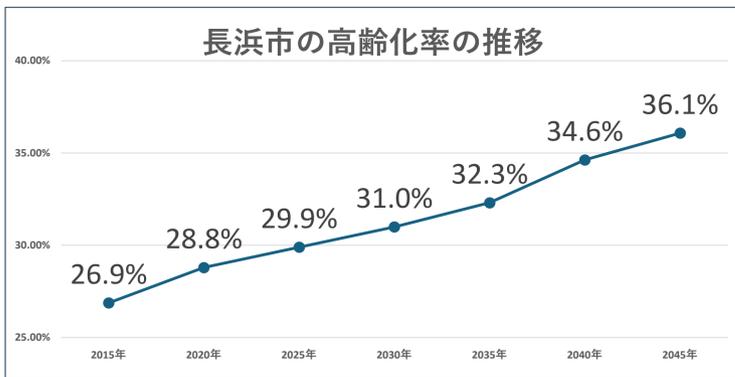
滋賀県の2025年地域構想予測数と対比

- ・急性期→495床 **超過**
- ・回復期→226床 **不足**
- ・慢性期→139床 **不足**

〈考察〉

高齢化率

2020年28.8%、2025年29.9%、2040年34.6%



↑国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」より作成

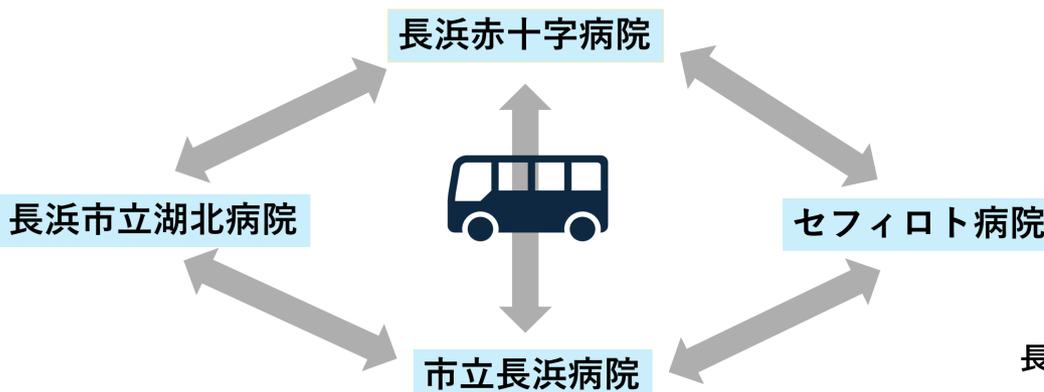
京都大学と滋賀医科大学関連からの要望書

医師不足から市立長浜病院と長浜赤十字病院の診療科の重複をなくさなければ、診療科両方に医師を配置することができない。

1つの病院に医師を配置することはやむを得ないが、高齢化に対応するため、循環器科、呼吸器科内科系などを重点的に配置することを検討しなければならない。

急性期病床から慢性期病床への転換が必要

2病院に診療科が分散すると患者は、病院を複数受診する必要性が出てくる



外来診療では長浜市内の病院を結ぶ巡回バスを、高齢化率が高いため住宅診療を増加させることを提案する



〈結語〉

今後、診療情報の知識を礎に患者数のデータ分析に基づく巡回バスのルート設定を行うなど、湖北の地域医療構想における病院再編に貢献したいと考えている